

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分
 【発行日】平成28年8月4日 (2016.8.4)

【公表番号】特表2015-537293(P2015-537293A)
 【公表日】平成27年12月24日 (2015.12.24)
 【年通号数】公開・登録公報2015-081
 【出願番号】特願2015-537696(P2015-537696)
 【国際特許分類】

G 0 6 F 17/30 (2006.01)

【 F I 】

G 0 6 F 17/30 3 4 0 D

【手続補正書】

【提出日】平成28年6月13日 (2016.6.13)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

データウェアハウスのデータシステムを追跡するためにコンピュータで実現される方法であって、

目標データ要素を 1 つ以上のソースデータ要素にマッピングすることを備え、前記目標データ要素は目標データテーブル定義の列を備え、各々のソースデータ要素はソーステーブル定義の列を備え、さらに

1 つ以上の補助列を備えて 1 つ以上のソースサロゲートキーを格納するように前記目標テーブル定義を拡張することと、

各ソースデータ要素毎に、ソースサロゲートキーを格納する前記目標テーブル中の補助列の列アイデンティティとともに、前記目標データ要素および対応のソースデータ要素のマッピングを表わすデータシステムマッピングシステムテーブル内にデータシステムマッピングシステム記録を格納することと、

前記目標データ記録が作成されるかまたは修正されるときに前記目標データ記録の前記 1 つ以上の補助列内に 1 つ以上のソースサロゲートキー値を格納することと、

各目標データ記録毎に、前記ソースデータ記録および対応の目標データ記録ソースサロゲートキー値のマッピングを表わすシャドウシステムテーブル内に 1 つ以上のシャドウシステム記録を格納することとを備え、

前記データシステムは、前記 1 つ以上のデータシステムマッピングシステム記録、前記 1 つ以上のシャドウシステム記録、および前記 1 つ以上のソースサロゲートキーを備える、方法。

【請求項 2】

前記目標データ要素は、データ変換を用いて前記 1 つ以上のソースデータ要素から導出され、

各々のソースサロゲートキーは、前記対応のソースデータ要素を備える前記ソースデータ記録のアイデンティティを備え、

前記データシステムマッピングシステム記録は、前記対応のソースデータ要素、前記目標データ要素、および前記 1 つ以上の補助列を備え、

前記シャドウシステム記録は、前記ソースデータ記録を同定するソースサロゲートキー値、前記対応の目標データ記録を同定する目標サロゲートキー値、および 1 つ以上の補助列値を備える、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記追跡はさらに、

前記データシステムを用いてマッピングされる前記 1 つ以上のデータ要素からデータ要素を選択することと、

前記データシステムを用いて、ユーザインターフェイス内に、前記選択されたデータ要素にマッピングされる 1 つ以上のデータ要素を表示することとを備える、請求項 1 または 2 に記載の方法。

【請求項 4】

前記 1 つ以上のサロゲートキーのうちの各サロゲートキーは、前記ソースデータ記録を備えるソースデータテーブルのアイデンティティを備える、請求項 1 ～ 3 のいずれか に記載の方法。

【請求項 5】

前記追跡はさらに、

各目標データ要素毎に、好ましいソースデータ要素として前記 1 つ以上のソースデータ要素のうち 1 つのソースデータ要素を選択することと、

選択された 1 つ以上の前記好ましいソースデータ要素に基づいて前記データシステムの好ましいソース経路を作成することとを備える、請求項 1 ～ 4 のいずれか に記載の方法。

【請求項 6】

前記データウェアハウスは 1 つ以上の順序付けされたデータモデルを備え、各々の順序付けされたデータモデルは 1 つ以上のデータテーブルを備え、後続のデータモデルの 1 つ以上のデータテーブルはデータ変換を用いて先のデータモデルの少なくとも 1 つのテーブルから形成される、請求項 1 ～ 5 のいずれか に記載の方法。

【請求項 7】

前記追跡はさらに、前記目標データ記録の補助列内にピボット列アイデンティティを格納することとを備え、前記ピボット列アイデンティティは前記ソースデータ記録のピボット列を同定する、請求項 1 ～ 6 のいずれか に記載の方法。

【請求項 8】

前記追跡はさらに、前記目標データ記録の第 1 の補助列内にフィルタ列アイデンティティを格納することとを備え、前記フィルタ列アイデンティティは前記ソースデータ記録のフィルタ列を同定し、さらに前記追跡は、

前記目標データ記録の第 2 の補助列内にフィルタ値を格納することとを備え、前記フィルタ値は前記ソースデータ記録のフィルタ値である、請求項 1 ～ 7 のいずれか に記載の方法。

【請求項 9】

前記データ変換は、直接マッピング変換、統合変換、合体変換、横縦アンピボット変換、縦横ピボット変換、またはケース変換のうち 1 つである、請求項 2 に記載の方法。

【請求項 10】

前記データシステムマッピングシステム記録は前記データ変換の種類をさらに備える、請求項 2 に記載の方法。

【請求項 11】

選択された前記データ要素にマッピングされる前記データ要素の前記表示は、各データ要素毎に前記データシステム内の前記データ要素の位置を表示することとをさらに備える、請求項 3 に記載の方法。

【請求項 12】

前記追跡はさらに、前記 1 つ以上のソースデータ要素への前記目標データ要素の前記マッピングに基づいて、前記 1 つ以上の補助列を前記目標データ記録に自動的に追加することとを備える、請求項 1 ～ 11 のいずれか に記載の方法。

【請求項 13】

データウェアハウスのデータシステムを追跡するためのコンピュータで実現される方法であって、

目標データ要素を1つ以上のソースデータ要素にマッピングすることを備え、前記目標データ要素は目標データテーブル定義の列を備え、各々のソースデータ要素はソーステーブル定義の列を備え、さらに

各ソースデータ要素毎に、前記目標データ要素および対応のソースデータ要素のマッピングを表わすデータシステムマッピングシステムテーブル内にデータシステムマッピングシステム記録を格納することと、

各目標データ記録毎に、前記ソースデータ記録および対応の目標データ記録のマッピングを表わすシャドウシステムテーブル内に1つ以上のシャドウシステム記録を格納することとを備え、

前記データシステムは、前記1つ以上のデータシステムマッピングシステム記録および前記1つ以上のシャドウシステム記録を備える、コンピュータで実現される方法。

【請求項14】

請求項1～13のいずれかに記載の方法をコンピュータに実行させるためのプログラム

。

【請求項15】

データウェアハウスのデータシステムを追跡するためのシステムであって、プロセッサと、

1つ以上の命令を格納するように構成されるメモリと、

目標データ要素を1つ以上のソースデータ要素にマッピングするように構成されるデータシステムマッピングモジュールとを備え、前記目標データ要素は目標データテーブル定義の列を備え、各々のソースデータ要素はソーステーブル定義の列を備え、さらに

1つ以上の補助列を備えて1つ以上のソースサロゲートキーを格納するように前記目標テーブル定義を拡張するように構成される拡張モジュールと、

各ソースデータ要素毎に、ソースサロゲートキーを格納する前記目標テーブル中の補助列の列アイデンティティとともに、前記目標データ要素および対応のソースデータ要素のマッピングを表わすデータシステムマッピングシステムテーブル内にデータシステムマッピングシステム記録を格納するように構成されるデータシステム格納モジュールとを備え、

前記データシステム格納モジュールは、前記目標データ記録が作成されるかまたは修正されるときに前記目標データ記録の前記1つ以上の補助列内に1つ以上のソースサロゲートキー値を格納するようにさらに構成され、

前記データシステム格納モジュールは、各目標データ記録毎に、前記ソースデータ記録および対応の目標データ記録ソースサロゲートキー値のマッピングを表わすシャドウシステムテーブル内に1つ以上のシャドウシステム記録を格納するようにさらに構成され、

前記データシステムは、前記1つ以上のデータシステムマッピングシステム記録、前記1つ以上のシャドウシステム記録、および前記1つ以上のソースサロゲートキーを備える、システム。

【請求項16】

データウェアハウスのデータシステムを追跡するためのシステムであって、プロセッサと、

1つ以上の命令を格納するように構成されるメモリと、

目標データ要素を1つ以上のソースデータ要素にマッピングするように構成されるデータシステムマッピングモジュールとを備え、前記目標データ要素は目標データテーブル定義の列を備え、各々のソースデータ要素はソーステーブル定義の列を備え、さらに

各目標データ記録毎に、前記ソースデータ記録および対応の目標データ記録のマッピングを表わすシャドウシステムテーブル内に1つ以上のシャドウシステム記録を格納するように構成されるデータシステム格納モジュールを備え、

前記データシステム格納モジュールは、各目標データ記録毎に、前記ソースデータ記録および対応の目標データ記録のマッピングを表わすシャドウシステムテーブル内に1つ以上のシャドウシステム記録を格納するようにさらに構成され、

前記データシステムは、前記1つ以上のデータシステムマッピングシステム記録および前記1つ

以上のシャドウシステム記録を備える、システム。